

地震にめげず地域貢献

第87回都市対抗野球大会(15、26日、東京ドーム)の開幕を前に、地域活性化などに貢献したチームを表彰する

「地域の元気 総務大臣賞」が7日、発表された。熊本地震後のボランティア活動や、以前から続けてきた地域貢献活動が評価されたホンダ熊本(熊本県大津町)と鮮ど市場Gリーグス(熊本市)が被災地からダブル受賞した。(一面に社告)



第87回 都市対抗野球
 主催 毎日新聞社 日本野球連盟
 後援 スポニッポン新聞社
 共同通信社 総務省

ポランティアセンターの引越しの手伝いをするホンダ熊本の選手たち―熊本県大津町で6月17日、山下恭二撮影①子どもたちと触れ合う鮮ど市場―ルデンラークスの選手―熊本県山鹿市の山鹿市民球場で5月5日、出口純撮影②野球教室で子どもたちと交流する和歌山箕島球友会の選手たち―同会提供

ンダ熊本硬式野球部は、少年野球教室の開催や町民にグラウンドを開放するなど地域の一員として活動してきた。4月の熊本地震で大津町では12人が重軽傷を負い、家屋1103棟が全半壊。野球部員は発生直後から、避難所での物資の運搬や被災家屋のがれき撤去などのボランティアに尽力した。野球部員が手伝った同町の寺院、目白山不動院の横手隆瑞副住職(41)は「軒並み落ちた本堂の瓦を次々と搬出してくれ、私が元気をもらった」と振り返る。

選手が勤務するホン

宅などが被災した社員に代わって部員が各店舗を切り盛りした。同県山鹿市で5月5日に開いた「ふれあい野球教室」には被災した南阿蘇村などの子どもたちを招待。1281棟が全半壊した西原村で農業ボランティアをするなど、県内全域で社会貢献活動を行う。田中敏弘監督(46)は「求められる場所で活動するのがラークスの使命。地震で野球より地域の復旧活動に努めたことを認めてもらいたい、大変ありがたい」と話した。【出口純】

顧問として会の運営を支えた。発足以来、地元の子どもたちを対象に野球教室も開催。毎年12月には、選手たちが市内の保育所7カ所と老人ホームで大掃除をするなど、地域との交流を図ってきた。ユニホーム姿で市のイベントを手伝うことも多く、「野球のお兄ちゃん」と親しまれている。有田市の望月良男市長は「大会での活躍だけでなく、地域に元気を与えてもらっている。和歌山箕島球友会にぴったりな賞を受賞し、うれしい」と話した。【高橋祐貴】

箕島球友会 地元密着で成長

奨励賞に選ばれた和歌山箕島球友会(和歌山県有田市)は1996年、県立箕島高校の野球部OBが中心となって設立され、今年で20周年を迎えた。選手たちは地元スーパー「松源」などで働きながら野球を続けており、箕島球友会の桑原太郎理事長は「地域の人たちの支えや応援のおかげで受賞できた。野球と地元でのさまざまな活動を通して、地域を元気づけたい」と喜んだ。

同会の設立当初は、箕島高校を率いて4回の全国制覇を果たした名将・故尾藤公元監督も

顧問として会の運営を支えた。発足以来、地元の子どもたちを対象に野球教室も開催。毎年12月には、選手たちが市内の保育所7カ所と老人ホームで大掃除をするなど、地域との交流を図ってきた。ユニホーム姿で市のイベントを手伝うことも多く、「野球のお兄ちゃん」と親しまれている。有田市の望月良男市長は「大会での活躍だけでなく、地域に元気を与えてもらっている。和歌山箕島球友会にぴったりな賞を受賞し、うれしい」と話した。【高橋祐貴】